

# 省エネ運転で漁業コストを減らそう

## ＝すぐに実践できる燃料油消費量の削減対策＝

漁船漁業では燃料費が漁業支出の約3割を占めており、漁業所得の向上を図り、経営を安定させるには、省エネルギー型の漁船漁業を実践し、燃料費を削減することが有効です。

そこで、底びき網漁船（2種チェーンこぎ）における燃料油消費量を調査し、省エネ対策の有効性を明らかにしました。

### 漁業支出を削減し、漁業所得を増やすための省エネ対策

#### その1 機関回転数の抑制

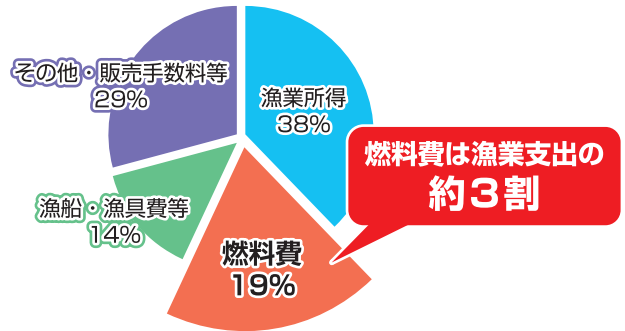


機関回転数を200回転/分下げて、  
燃料油消費量を約20%削減！

#### その2 船底掃除の実施



船底掃除をして、  
燃料油消費量を約10%削減！



燃料費は漁業支出の  
約3割

瀬戸内海の3～5トン漁船漁業経営体の収入に占める  
支出内訳(平成25年岡山農林水産統計年報より)

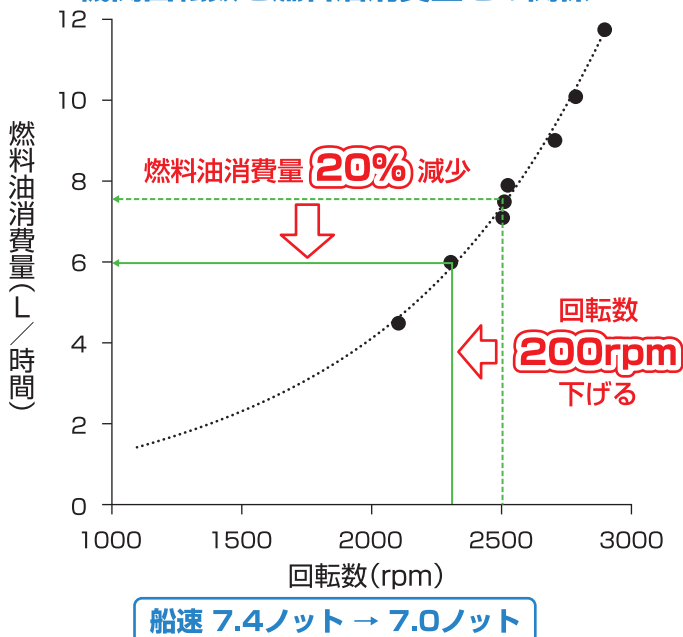
#### その1 機関回転数の抑制

漁船は自動車と異なり、機関回転数が減少しても速度はさほど遅くなりません。漁場への移動時の機関回転数を2500回転/分から2300回転/分に下げただけで燃料油消費量を約20%削減できることが分かりました。操業時も適正な機関回転数を維持しましょう。

#### その2 船底掃除の実施

航行時（8ノット）の燃料消費量を船底掃除前後で比較すると、燃料油消費量が約10%削減できることが分かりました。

#### 機関回転数と燃料油消費量との関係



#### 船底掃除前後における速度と燃料油消費量との関係

